

哀愁の旋律と情熱のリズム

エンリケ・クッティーニ楽団「タンゴエモーション」

11月25日(土) 15:00開演 (14:30開場)

ところ ゆめたろうプラザ 輝きホール (全席指定)

チケットぴあ 電話0570-02-9999 (Pコード:338-186)

料金 ゆめプラメイト 3,000円 (お一人様2枚まで) 一般 3,500円 (当日一般・メイト4,000円)

学生 (大学生以下) 1,000円 (当日1,500円)

グループ券 (一般チケット4枚) 13,000円 一般4枚同時購入でとってもお得!

(※前売りのみ ※ゆめたろうプラザでの取扱いのみ)

対象 小学生以上

好評発売中!



～哀愁の旋律と情熱のリズムが織り成すタンゴの世界～

ブエノスアイレスの場末で故郷を捨ててきた移民たちが生み出した娯楽、タンゴ。それは時を越え洗練され、現在では様々な音楽の中で確固たるジャンルを築きあげました。その源流であるアルゼンチンタンゴは、猥雑なエネルギーと繊細なメロディを併せ持つ稀有な音楽です。人が生きる喜びや悲哀といった心のうつろいを表現する演奏家と、曲中で出会い別れていくダンサーたち。

遠くはなれた異国で生まれたアルゼンチンタンゴは、古典として風化することもなく、言葉も文化の違いも超えた普遍的な感動を我々に与えてくれます。

「みなさん、タンゴはクラシックのように、かしまって聴かなくていいんですよ。手拍子して、歌ってください。」流暢な日本語でマエストロ・クッティーニが語り掛けると、和やかな空気と笑顔が会場いっぱい広がります。タンゴエモーションの特徴は、日本人の司会が入り、アルゼンチンタンゴや、バンドネオンの由来から曲の説明まで幅広く、アルゼンチンタンゴを初めて聴く観客のためにやさしい解説を加えます。

また、ラテン、シャンソンなども加え、観客の耳馴染みの曲を中心に構成されています。バンドネオンのもの悲しい旋律にダンスが絡み、深い哀愁を演出したかとおもうと「次はみなさんも一緒に歌ってください。」と呼びかける。ステージと観客の境目など無く、誰もが感じる親近感と一体感。ステージの天才、クッティーニのパフォーマンスに目は釘づけなのです。日本をこよなく愛す彼のファンサービスは惜しむことなく観客を楽しませるでしょう。

観客と一緒に歌う、楽しむ。それがタンゴエモーションのステージです。

Enrique Cuttini (エンリケ・クッティーニ)

1943年アルゼンチン共和国、ルハン市に生まれる。4歳からピアノを始め、幼年の頃より頭角を現し、数々のピアノコンクールに入賞する。1968年、弱冠23歳で文部省の推薦により、サン・フスト女性合唱団を引率し、北米ペルーを巡る。1979年、チリ国政府より音楽教育・企画の重責を与えられ、チリ国芸術・音楽大学客員教授、カルロス・ロペス・ブチャード国立音楽学院教授を歴任。

現在は自身が率いるエンリケ・クッティーニ楽団のピアニスト兼マエストロとして活躍する傍ら、本国アルゼンチンでは大学教授も務めている。

1987年に初来日して以来、現在までに毎年来日を果たしており、公演数は延べ700公演以上に上る。2003年5月に韓国・ソウルにて行なわれたArt Festival「Folk & Modern」では、招待公演として国立ヘオルム劇場のメインを飾り聴衆を熱狂させた。同年10月には、再び韓国の全州市にあるSori Arts Centerより招待されて公演を行い好評を博す。

アルゼンチンの大自然や人の心のうつろいを表現したタンゴの名曲と、音楽史に残る名曲の数々。それらの美しいメロディを活かしつつ、広く大衆にわかりやすいように独自のアレンジが施されたステージは、彼の軽やかなピアノと親しみやすい人柄もあいまって、アルゼンチン国内はもとより、日本においても多くのファンを掴んでいる。

担当者より

ゆめたろうプラザから本場のアルゼンチンタンゴをお届けします！豪華生演奏をバックに武豊で本場のタンゴを鑑賞することが出来る！こんなチャンスは、本当になかなかありません。

日本人によるタンゴのやさしい解説がついているのも嬉しいですね。「タンゴのことはあまり知らないわ」という方にも楽しんでいただけますよ。この機会に魅惑的な異国のタンゴを存分にお楽しみください！